

大人が変われば 子どもも変わる

子どもたちの 教育環境づくりについて

子どもたちを取り巻く教育環境は、少子高齢化、核家族化の進行、新聞・テレビ・雑誌等の情報の氾濫、携帯電話、インターネットの普及と急変する社会環境の中で、マスク等に取り上げられている青少年の目を覆いたくなるような、また耳を疑いたくなるような現状は震撼すら覚える。

今の子どもたちがおかしくなっている原因は何なのか、その問題の根源を考えていくことが大切ではないか。家庭や地域の人たちにも教育問題に喚起を促し、関心を持っていただくために、各公民館に掲げている標語を生かせないか。また、町報の表紙の標語を

一目で分かる大きさにすることはできないか。
三つ子の魂百までと言う。ゼロ歳から三歳までの子どもを持つ母親を対象にした学級は開催できないか。

教育長

標語は、社会を明るくする運動のなか、有線放送を活用してPRをし、青少年推進員、青少年育成員が主体となって、

区長、子ども会育成委員、PTA等と連携をとりながら、標語をスローガンにしながら講演会等もできると思っている。

町報の表紙の標語の大きさは、紙面の都合もあるが、背景のことも考えながら、もう少し目立つようなことも広報担当者で連携し進めていきたい。

ゼロ歳から三歳までの子どもを持つ母親の学級の開催については、「池田町子育て支援センター」で利用者のニーズに応じた講座を開いている。また、各所の児童館で指導者と一緒に親子が遊びを通じて楽しんでいますが、健康福祉課、あるいは、保健センター等の部署と連携をとりながら検討していきたい。



町庁入口付近の標語



ベビーマッサージ講座（子育て支援センター）



「七夕飾りを作ろう」講座（温知児童館）